

# 公共事業再評価調書

整理番号 H16 - 34

担当部課室名	県土整備部 高規格道路・津軽ダム対策課	電話番号	0 1 7 - 7 3 4 - 9 7 1 1
		E - MAIL	kokikaku @ags.pref.aomori.jp

再評価実施要件	未着工	長期継続 ( 10 年)	再評価後 ( 年)	その他 ( )
---------	-----	--------------	-----------	---------

## 1 事業概要

事業種別	国道改築事業		事業主体	県	市町村	その他 ( )		
事業名	国道 279 号道路改築事業		地区名等	野辺地バイパス	市町村名	野辺地町		
事業方法	国庫補助	県単独	財源・負担区分	国 5 %	県 4 5 %	市町村 % その他 %		
採択年度	平成 7 年度 (用地着手 平成 8 年度 / 工事着手 平成 9 年度)							
終了予定年度	平成 17 年度 ( 年 月計画変更 当初計画時 年度 )							
事業目的	地域高規格道路『下北半島縦貫道路』の一部を形成し、地域間連携強化や救急医療ネットワークの向上に寄与するとともに、原子燃料サイクル施設や国家石油備蓄基地等の国家プロジェクトを支援する。							
主な内容	全体延長 L = 6, 8 6 0 m 幅員 W = 1 2 . 0 m ( 2 3 . 5 m ) 橋梁 5 橋 ( L = 3 5 2 m )							
事業費	採択時総事業費 15,000 百万円 (単位:百万円)							
		~13年度	14年度	15年度	16年度	小計	17年度~	合計
	計 画 (うち用地費) 年 月変更	( )	( )	( )	( )	13,793 ( 1,913 )	1,532 ( 212 )	15,325 ( 2,125 )
	実 績 (うち用地費)	10,170 ( 1,966 )	1,000 ( 44 )	955 ( 105 )	2,000 ( 10 )	14,125 ( 2,125 )	1,200 ( 0 )	15,325 ( 2,125 )

## 2 評価指標及び項目別評価

### (1) 事業の進捗状況

(A) ・ B ・ C

事業の進捗状況	事業費割合 (うち用地費)		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
			92.2 % [ / ] ( 100.0 % ) [ / ]	102.4 % [ / ] ( 111.1 % ) [ / ]
	主要工種毎割合 (事業費)	改良工 ( 8,012百万円)	94.0 %	118.2 %
		舗装工 ( 1,134百万円)	9.7 %	10.8 %
橋梁工 ( 2,560百万円)		76.9 %	85.5 %	
説明	・全体延長 L = 6, 8 6 0 m のうち 1 工区の L = 2, 8 0 0 m を先行して進めており、隣接する有戸バイパスの供用と合わせて L = 9, 1 0 0 m を平成 1 6 年内に供用させる予定である。残りの L = 4, 1 0 0 m についても、平成 1 7 年度に供用する予定である。			
問題点・解決見込み	-			
事業効果発現状況	・有戸バイパスと合わせて約 L = 9 . 1 km (野辺地バイパス L = 2 . 8 km) の部分供用により、現道における交通混雑の解消や縦断線形不良箇所の回避が図られ、約 3 分の時間短縮効果が望める。			

### (2) 社会経済情勢の変化

(A) ・ B ・ C

社会的評価	全国・本県における評価	<p>[全国の評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>従前各分野別の長期計画、道路でいえば「道路整備五カ年計画」を策定していたが、国土交通省内の各分野を統合した「社会資本整備重点計画」が策定された。</li> </ul>	<p>[県内の評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通機関の未整備な本県にとって、車を主とする交通に頼らざるを得ない状況であるが、未整備区間が多く、社会基盤整備としての道路整備に対する要望は多い。</li> </ul>
	当地区における評価	<p>当該地区は、野辺地町の中心部を通過するため混雑度が 1 . 1 7 (交通容量に対し実交通量が 1 . 1 7 倍) の状況であり、また中心部を通過した後も縦断線形不良箇所 (縦断勾配が 6 % 以上の箇所) が連続しており、平均走行速度が著しく低下している。冬期交通の安全確保や交通混雑の解消のため、早期の道路整備が求められている。</p>	
必要性	<p>・当該路線は、県が管理・整備する国道である。 ・東北縦貫自動車道八戸線と連絡することによる高速交通ネットワークの形成が、下北地方生活圏と県内の青森、南部、津軽の各地方生活圏との交流を活発にする。また、青森県広域道路網マスタープランにおける「県都青森市とむつ市とを概ね 1 時間で結ぶ」目標の達成を図る。</p>		(a) . b
適時性	<p>・六ヶ所村原子燃料サイクル施設が平成 4 年から操業され、うち再処理工場が平成 1 7 年の操業開始を予定しており、災害時における危機管理の観点からも、アクセスコントロールされた道路が必要である。 ・平成 1 4 年 5 月に六ヶ所村が I T E R (国際熱核融合実験炉) の国内候補地に決定し、誘致推進に向けたアクセス機能の強化が必要である。</p>		(a) . b
地元の推進体制等	<p>・むつ市長を会長とし、沿線の 1 3 市長村長、議会議長、観光協会等で構成される下北半島縦貫道路整備促進期同盟会により、早期完成の要望がなされている。</p>		(a) . b
効率性	<p>・道路の整備により、下北半島地域の観光拡大に寄与し、地域間交流や地域の活性化に効果がある。 ・むつ小川原開発計画 (原子燃料サイクル施設や国家石油備蓄基地等) や、東通・大間原子力発電所建設計画を支援するとともに、災害時における緊急輸送路の確保の面からも大きな効果がある。</p>		

## (3) 費用対効果分析の要因変化

(A) ・ B ・ C

区分	主な項目	計画時	再評価時	増減
費用項目 (C)	(1) 事業費	百万円	17,800 百万円	17,800 百万円
	(2) 維持管理費	百万円	1,000 百万円	1,000 百万円
	(3)	百万円	百万円	0 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総費用	- 百万円	18,800 百万円	18,800 百万円
便益項目 (B)	(1) 走行時間短縮便益	百万円	35,600 百万円	35,600 百万円
	(2) 走行経費減少便益	百万円	4,100 百万円	4,100 百万円
	(3) 交通事故減少便益	百万円	1,600 百万円	1,600 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総便益	- 百万円	41,300 百万円	41,300 百万円
B / C			2.2	

【費用対効果分析手法】 (分析手法、根拠マニュアル等)  
『公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針』(平成16年2月国土交通省策定)による。  
【費用対効果分析における特記事項】  
道路事業における費用便益は、平成10年度より行われており、計画時には算出していない。

## (4) コスト縮減・代替案の検討状況

(A) ・ B ・ C

コスト縮減	【コスト縮減の検討状況】 ・ 路盤材、舗装材に再生材を使用し、経費の縮減を図っている。 ・ 建設発生土を盛土材として使用し、経費の縮減を図っている。	a . b
代替案	【代替案の検討状況】 ・ 当該路線は高速交通ネットワークの形成や、緊急災害時における緊急輸送路の確保の観点から、アクセスコントロールされた自動車専用道路として整備を進めてきている。既存の改築事業との整合を図り、用地買収等の手戻りを極力生じないようなルートを選定している。	a . b

## (5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A) ・ B ・ C

住民ニーズの把握状況	【住民ニーズの把握方法】 むつ市長を会長とした沿線の13市町村の首長等で構成される下北半島縦貫道路整備促進期成同盟会により、早期完成を望む要望が出されている。	【住民ニーズ・意見】 下北地域の観光や産業等に大きく寄与するものであり、地域づくりへの支援や原子力施設等の防災対策、危機管理の観点からも、早期整備が望まれている。	a . b
環境影響への配慮	【地域別環境配慮指針への対応】 (1) 地域区分 <input type="text" value="K1d"/> (2) 対応状況 <input type="checkbox"/> 配慮している <input type="checkbox"/> 配慮していない	【開発事業等における環境配慮指針への対応】 配慮している <input type="checkbox"/> 配慮していない <input type="checkbox"/>	a . b
地域の立地特性	【特記事項】 ・ 当該バイパスは、平成9年4月に都市計画の変更を行っており、それに伴った都市計画アセスを実施していることから、現地の環境を考慮した設計になっている。 ・ 半島振興対策地域となっており、本路線は半島循環道路として指定されている。 ・ 当該地域は、むつ小川原開発計画における原子燃料サイクル施設等の立地地域であり、本路線は災害対策基本法に基づく緊急輸送道路に位置づけられている。		

## 3 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	継続 <input type="checkbox"/> 計画変更 <input type="checkbox"/> 中止 <input type="checkbox"/> 休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
評価理由	地域連携強化、市町村合併支援、及びむつ小川原開発計画の支援を図るため、継続して事業を進め、平成16年度の一部供用、及び平成17年度的全線供用と、事業効果の発現を図る。
備考	

## 4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針(案)どおり <input type="checkbox"/> 対応方針(案)を修正すべき <input type="checkbox"/>
委員会評価	継続 <input type="checkbox"/> 計画変更 <input type="checkbox"/> 中止 <input type="checkbox"/> 休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
附帯意見	
評価理由	